

あれこれ

通信

1994年10月

渋谷とみ子の議会報告 No 11

1994年9月議会

埼玉県比企郡嵐山町平沢254-64

渋谷 登美子

TEL/FAX 0493-62-7997



★いのちあるすべての物達と太陽と水と土のつながりを求めて★

都幾川の源流(木の村キャンプ場の上流)に ダム建設が予定されています。

ダムが建設されると玉川村、嵐山町、東松山市に流れる
都幾川や私達の生活は、どう変わっていくのでしょうか。

嵐山町の水道水は、都幾川のそばの井戸から地下水を取水しています。地下水とい
っても実際は、都幾川の伏流水(川底の下を流れる地下水)と考えられます。

地質学者の専門家に伏流水とダムについて質問しました。

ダム建設予定地



☆ダムが上流にできると川の水を溜めるので、
流れる水が少なくなると考えます。

嵐山町は都幾川の地下水脈を、井戸を掘って
取水して水道水に使っています。上流にダム
ができると、地下水はどうなるのですか。

★ダムに山の砂がたまります。ダムがない時に
は、砂は川の水と一緒に川の下流に流されま
す。ダムの建設によって、砂はダムにたまり
流れなくなりますから、川床が低くなります。
当然、地下水流の位置も下がります。井戸の
水位も低くなります。結果として取水できる
地下水が少なくなる。ダムが上流にできると
下流の井戸や温泉がかれる例がよくあります。

都幾川上流に予定しているダムは洪水調節目的と、八千人分の水道
水を貯留する目的です。都幾川の水量は少なくなり、汚れます。町
の飲み水は汚れ、高くてまずい県営水道の水を買うことになります。